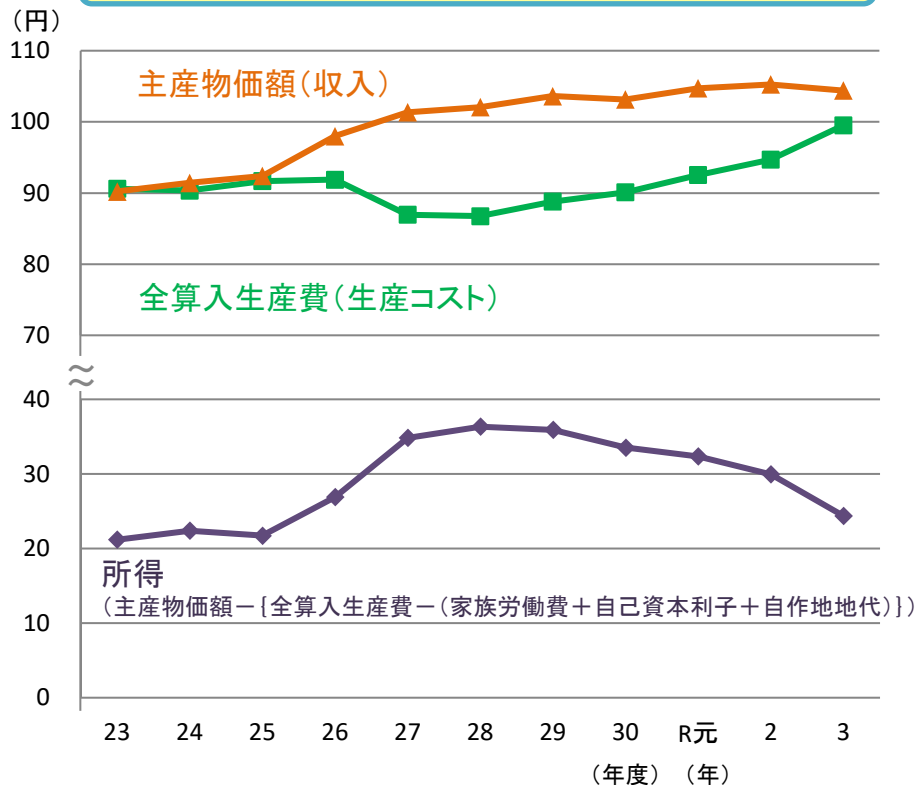


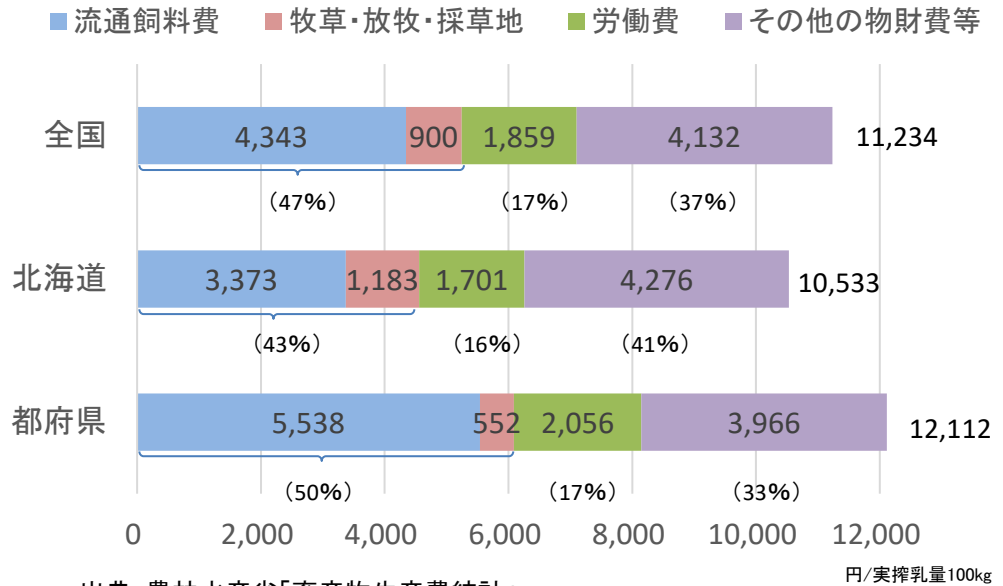
生産コストと所得の推移

- ・ 生乳1kg当たりの生産コスト(全算入生産費)は、飼料価格の低下に伴う流通飼料費の減少等により27年度に減少したものの、29年度以降は初妊牛価格の高騰に伴う乳牛償却費の上昇等により増加傾向で推移。令和3年は、配合飼料をはじめとした飼料費の高騰等により、生産コストは増加。
- ・ 生乳1kg当たりの所得は、26年度以降の乳価上昇に伴う主産物価額(生乳販売収入)の上昇に加え、27年度以降の副産物価額上昇による生産コストの減少により、増加傾向で推移していたが、29年度以降は生産コストの上昇等により減少。令和3年は、主産物価額の減少に加え、生産コストの増加により、所得は減少。

生乳1kg当たりのコストと所得(全国)



令和3年の生乳生産費(費用合計)



出典:農林水産省「畜産物生産費統計」
 注1:消費税含む。
 注2:畜産物生産費調査は、令和元年調査から調査期間を調査年4月から翌年3月までの期間から、調査年1年から12月までの期間に変更した。